



仲間と共に ■ 声援を力に駆け抜ける

第24回気仙地区中学校駅伝競走大会



気仙地区中学校駅伝競走大会兼岩手県中学校駅伝競走大会予選会が、9月1日(火)、高田松原運動公園で開催され、気仙地域2市1町の中学生が公園内に設けられた周回コースを駆け抜けました。

男子は6区間15.6キロメートル、女子は5区間11.5キロメートルをたすきでつなぎ、選手たちは仲間の思いを胸に力走。出場者の中には、区間新記録を達成する選手も見られ、日頃の練習の成果を発揮していました。

女子の部では、高田第一中学校が見事4連覇を達成し、高田東中学校も2位に入る健闘を見せました。男子の部では、高田第一中学校が2位に入り、高田東中学校の選手たちも仲間の声援を受けながら、最後まで粘り強い走りを見せました。

コースの外からは、チームメイトや関係者から選手に向けて盛んに声援が送られ、選手たちはその声を力に変え、苦しい場面でも最後まで諦めることなく競技に挑み、会場は一体感に包まれていました。



力走する選手たち
仲間の声援を受けて



大会結果

順位		学校名	記録
女子	優勝	高田第一中学校	46分43秒
	2位	高田東学校	47分23秒
男子	2位	高田第一中学校	53分44秒
	5位	高田東学校	54分56秒

ひたむきに挑戦 ■ 日頃の練習の成果を発揮

第6回陸前高田市・住田町 小学校陸上記録会



本市と住田町の合同による小学校陸上記録会が、9月18日(金)に県立野外活動センター多目的運動広場で開催されました。

当初、本記録会は16日(水)に開催を予定していましたが、天候に恵まれず延期。18日は一転して、風が少し強い中ではありましたが、好天に恵まれ、選手たちは日頃の練習の成果を発揮し、自己記録の更新に挑みました。



自己ベストへ挑む児童たち

記録会結果 市内小学校の上位1人を掲載

種目		氏名(学校)	記録
男子	5年100m	おいかわはると 及川陽大(広田)	16秒7
	5年800m	こんの ぜん 金野 禅(米崎)	2分50秒6
	6年100m	きんの かんた 金野 敢太(米崎)	15秒3
	6年800m	つかたかずま 塚田和真(米崎)	2分39秒0
	ジャベリックボール投げ	きくやいつしん 菊谷一心(米崎)	46m72
	走り高跳び	ほそやきく 細谷咲空(米崎)	1m24
	4×100mリレー	気仙小学校	1分00秒0
		むさいたいせい まくちあおま かわしまちひろ むらかみそう 武蔵敦晴、菊地蒼馬、川岸倫大、村上奏	
		米崎小学校	1分00秒0
		なおいえいと きんの かんた つかたかずま くまがいはやと 直井瑛、金野敢太、塚田和真、熊谷勇人	
女子	5年100m	うえのりこ 上野 莉子(小友)	16秒4
	5年800m	こいずみえれん 小泉笑蓮(米崎)	3分02秒8
	6年100m	むらかみりお 村上莉桜(広田)	16秒0
	6年800m	こばやしあやの 小林彩乃(気仙)	2分47秒9
	ジャベリックボール投げ	おぎわらゆず 荻原唯瑞(横田)	31m20
	走り高跳び	ささきみゆ 佐々木心結(気仙)	1m15
	4×100mリレー	高田小学校	1分03秒9
		かんのこはる きんのれみ よしのあかね しらいしゆはな 菅野心陽、金野玲海、芳野茜、白石夢花	

絆深める交流

■ フロンターレU-15の選手が修学旅行で本市を訪れました



フロンターレアカデミー陸前高田修学旅行&交流試合

市と友好協定を結ぶ川崎フロンターレのU-15所属の中学1年生37人が、8月21日(金)から23日(日)までの3日間、高田フロンターレスマイルシップ事業として本市を訪れました。

本市に訪れた選手たちは、3日間の滞在中、東日本大震災津波伝承館などの見学や講話を通じて震災



ボールを競り合う両チームの選手

について学んだほか、ふろん田でののかし作りやりんご園の訪問など、本市の自然を生かしたアクティビティを体験しました。また、上長部グラウンドで行われた交流試合には、川崎フロンターレのほか、陸前高田・大船渡の合同チーム「FC ALTAKA」など複数のジュニアユースチームが参加し、サッカーを通じて親睦を深めました。

交流試合に参加した金野蒼奨さん(高田一中3年)は「普段できない相手との試合で経験になった。今日出た課題を練習から意識して、リーグでの勝利を目指します」と振り返っていました。

防災を身近に

■ 見て・触れて・体験して高める防災意識



消防・防災フェスタ2026

市民が「見て」「触れて」「体験」することで防災意識の向上を図る「消防・防災フェスタ2026」を、8月23日(日)にアバッセたかた前の多目的広場で開催しました。

会場では、自衛隊車両や消防車両、パトカーなどが展示され、消防車両を活用した乗車体験や、子ども用の消防服を着用して行う放水体験には、多くの家族連れが列を作りました。



放水体験を楽しむ来場者

また、今回は自衛隊が初参加し、特殊車両の展示や温かいカレーの炊き出しを行い、来場者との交流を深めました。その他にも、博物館の屋上では県の防災ヘリによる降下訓練が実演され、来場者は上空へ熱い視線を送っていました。

会場を訪れた小金山さくらさん(横田小5年)は「救急車に乗れて楽しかった。自衛隊のカレーもとてもおいしかったし、みんなかっこよかった」と目を輝かせていました。

海で観察会

■ 身近な海の豊かさを実感



海のいきものを探しに行こう！

海で生き物を探しながら、それぞれの特徴などを知る「海のいきものを探しに行こう！」が、9月12日(土)に県立野外活動センターや矢の浦漁港などで開催され、親子20人余りが参加しました。



生き物を熱心に観察する子どもたち

本イベントは、特定非営利活動法人陸前高田まちづくり協働センターが、令和5年に発行した『みんなで作ったたかたの教科書』を活用して企画。参加した子どもたちは、講師を務めた元海と貝のミュージアム職員の高橋一成さんが捕まえたクサフグやシチセンスズメダイなどを興味深そうに観察し、生き物の特徴や生態を熱心にメモしていました。

参加者の岡田陽青さん(米崎小2年)は「魚はツルツル、貝は硬かった。普段見られない魚が見られて楽しかった」と振り返っていました。